

鮭から見える

食べるだけじゃ
もったいないじゃない！

— 第3回 — いわての海

身近だけれど意外に知らない「鮭」のあれこれを学ぶ全5回の連続講座です。第3回目のテーマは、..

又兵衛祭りをめぐる民俗

宮古市を流れる津軽石川は全国有数のサケが上る川として知られています。津軽石川では毎年11月30日に「又兵衛祭り」という初鮭儀礼が行われています。又兵衛祭りは津軽石川の川原に二又に分かれた藁人形を祀り、その年のサケの大漁を祈願するもので、「奇祭」とも言われています。本講座では、津軽石川とサケの関わりを又兵衛祭りなどの民俗や文化の観点から学びます。



【講師】

よしむら けんじ
吉村 健司 氏

東京大学大気海洋研究所
沿岸海洋社会学分野
特任研究員

開催日

2020年1月18日(土)

13時30分～14時30分

場所

岩手県立図書館
4階 ミニシアター

定員

60名<受講無料>

申込受付

12月1日(日)より

- ・カウンター、またはお電話で
- ・電話：019-606-1730

【企画協力】

海と希望の学校 in 三陸 盛岡分校、東京大学大気海洋研究所 国際沿岸海洋研究センター

【後援】

岩手日報社、岩手県農林水産部水産振興課、エフエム岩手、盛岡市

鮭から見える

食べるだけじゃなく、
もったいないじゃない！

いわての海

豊かな漁場に恵まれた岩手県沿岸部では、沿岸漁業や地形を活かした養殖業が盛んに行われています。中でも「鮭」は岩手県にとって重要な産物で、漁獲量は北海道に次ぎ全国第2位、日常生活においても旬になると“秋味”の名称とともによく目にします。春先には稚魚の放流がニュースで採り上げられ、県のシンボル魚が「南部さけ」となっていることから、居住地が沿岸であると内陸であるを問わず、県民一般にとって親しみ深い魚であると言えます。

しかし一方で、鮭について学ぶ機会はそれほど多くなく、その生態や歴史的、文化的な背景などについて知る人は、それほど多くないのではないのでしょうか？

この講座は、川と海とを生活圏とし、わたしたちにとって身近な魚である「鮭」をテーマに、“身近だけれど意外に知らない「鮭」のあれこれ”を学ぶ連続講座です。

この機会にぜひ、鮭について一緒に学びましょう！

第4回目：2020年2月29日（土）開催

【テーマ】東北におけるサケ漁具 《申込受付開始：1月10日（金）より》

第5回目：2020年3月7日（土）開催

【テーマ】「さけの赤ちゃん放流会」の27年 《申込受付開始：2月1日（土）より》